

International Design Interchange 国際デザイン交流事業

富山・台湾デザイン交流事業

富山県は、2014年に開催された「台湾デザインエキスポ」に初出展して以来、台湾デザインセンターを窓口として継続的にデザイン交流事業を行ってきました。2016年度も、台湾デザインミュージアムでの「トヤマモデル—富山県総合デザインセンターの商品化メソッド展—」をはじめ様々な交流事業が開催されました。また富山県総合デザインセンターと財団法人台湾デザインセンターとの間で「連携に関する覚書」の調印がなされ、互いのデザイン力を活用した商品開発や市場開拓、さらなる人的交流の活性化を図っていくこととなりました。

トヤマモデル

—富山県総合デザインセンターの商品化メソッド展—

【期間】 2016年8月4日～13日

【会場】 台湾デザインミュージアム(台北市)

富山県総合デザインセンターの商品化のプロセスを展示紹介しました。17点の商品開発事例を含め、県内企業20社約160点の商品の展示とともに、「商品化プロセス」、「販路開拓」などのテーマでモックアップや図面、デザイン画などの展示が行われました。



国際フォーラム

【期間】 2016年8月10日(水)

【会場】 台湾デザインセンター(台北市)

富山県と台湾それぞれの企業が、デザイナーとのコラボレーションでヒット商品を生み出す開発手法を(株)能作の能作克治氏が紹介。台湾のデザイナーや企業など約150名が参加し、富山企業のものづくり技術に高い関心が集まりました。

ゴールデン・ピン・アワード

台湾の優良デザイン認証制度「ゴールデン・ピン・アワード」に県内から6社15商品が選定されました。また台湾デザインセンターで開催される「ゴールデン・ピン・アワード認証商品展示会(2016年11月25日～2017年4月23日)」に県内企業5社9商品が出品。12月16日～25日には、台北そごうで同アワード選定企業をテーマとする催事が開かれ、県内企業3社((株)能作、(株)山口久乗、(有)四津川製作所)による展示・販売会が行われました。

台湾デザイナーの富山企業視察

【期間】 2016年10月24日(月)、25日(火)

【視察先】 (株)小泉製作所、(株)ナガエ、(株)能作、(有)モメンタムファクトリー・Orii、(株)山口久乗、(有)四津川製作所

台湾から5組のデザイナーが来県し、県内企業を視察。また富山県総合デザインセンターが開催する商品開発研究会の会員企業とのマッチングも行われました。

